



拓 (ひらく)

関西合同労働組合 教 宣 部

〒653-0021

神戸市長田区梅ヶ香町2-5-2

電話 078-652-8847

第141号 2025・12・24

HP : kangodounion.org

Email : hyogounion@k8.dion.ne.jp

2026・2・1 第32回定期大会に結集しよう!

関西合同労働組合執行委員会は、延期になっていた第32回定期大会を2026年2月1日に西宮市立若竹生活文化会館にて13時より開催することを決定いたしました。組合員、サポート組合員のみなさんの結集を呼びかけます。

極右・高市政権と対決しよう!

2025年10月25日に第104代内閣総理大臣となった高市早苗は、その就任直後の11月7日の衆院予算委員会において「台湾有事は日本の存立危機事態になり得る」と答弁しました。この歴代内閣が踏み込めなかった「台湾有事は日本有事」との日本政府としての認識をはっきりさせた発言により、安倍政権時代から行われてきた九州・南西諸島の相次ぐ基地建設、敵基地攻撃のためのミサイル配備などの軍事要塞化が「対台湾有事シフト」であることが完全に明らかとなりました。この高市答弁による明確な中国への内政干渉に対し、中国側は猛反発、重大な外交問題に発展しています。

これに関連して「安保三文書」の改定に伴い「非核三原則」を見直す（核兵器の持ち込みを認める）と打ち出し、高市政権が戦争推進内閣であることが露わになっています。

高市首相が就任後間もなく厚生労働相に



2024年7月14日第31回定期大会 西宮市立勤労青少年ホーム

指示した労働時間の規制緩和は、長時間労働是正への最悪の逆行であり、許されません。政府はこの労働法制改悪を2026年の国会で審議しようとしています。労働法制改悪反対を労働運動の中心課題として取り組まなければなりません。

戦争反対! パレスチナに平和を!

パレスチナでは、10月10日のイスラエル・ハマス間の停戦合意発効後もイスラエル軍がガザ地区の半分に駐留し、同地区への空爆、食料を始め生活必需品の物資搬入を阻止し続け、ガザ地区住民は深刻な生命の危機にさらされ続けています。ヨルダン川西岸地区ではイスラエル人入植者によるパレスチナ人への暴行、殺害事件がイスラエル



軍の擁護のもとに続けられています。また、レバノン、シリアなど周辺のアラブ諸国への攻撃も行い、数千人の民間人を殺害しています。正にイスラエル・ネタニヤフ政権は世界史上稀にみる「ならず者国家」なのではないでしょうか。

団結して生活破壊、物価高騰と闘おう！

全世界の1割の富裕層が8割の富を所有し、日本の企業の内部留保は600兆円に達している中で、米や生鮮食料品の前年同月比約25%もの物価高騰（総務省統計）と、この4月からの食料品、飲料、公共交通機関の値上

げ、結果として実質賃金の低下に苦しめられているのが今の私たち労働者の生活実態なのではないでしょうか。

非正規雇用・外国人労働者との連帯を！

今や日本社会は外国人労働者の存在なしにあり得ません。コンビニ、ファーストフード店、建設現場、介護福祉などエッセンシャルワーカーの多くが外国人労働者です。そうであるにも関わらず、彼ら彼女らの99.9%は無権利、低賃金の非正規雇用労働者です。この現実を打ち破り、組織労働者として権利獲得のために、関西合同労働組合のような個人加盟形式のユニオン労働組合のより一層の発展が求められています。

定期大会に結集し、ユニオン運動の発展を！

関西合同労働組合は以下の要項で第32回定期大会を開催します。全ての組合員、サポート組合員みなさんへ総結集を再度訴えます。大会で活発に議論し、今後の関西合同労働組合を共に作り上げましょう。

関西合同労働組合 第32回定期大会開催要項

日時：2026年2月1日（日曜日）13時～

場所；西宮市立若竹生活文化会館

内容：本部提案 ・ 第1号議案「総括」 ・ 第2号議案「情勢」 ・ 第3号議案「方針」

・ 第4号議案「会計報告」 ・ 第5号議案「予算案」 ・ 特別決議の提起と討論、採択

- ・ 2025年11月29～30日第37回コミュニティユニオン全国交流集会inえひめ松山の報告
- ・ 2025年8月14～16日 「光復節80周年」訪韓団報告
- ・ 2026年1月25日投開票 沖縄県名護市長選挙の報告

（内容は変更される可能性がありますので予めご了承ください。）



職場からの通信

ハケンのお仕事

今年の春先から新しい仕事に就きました。交通機関を利用される車椅子の方や、目が不自由な方が安全に乗り降り出来るように介助する仕事です。電車をよく利用される方は、最寄り駅や停車駅で見かけた事があるかと思います。

利用者されるお客様の安心、安全が第一ですので非常に緊張します。目の不自由な方の場合、乗降だけではなく、乗り換えや出口までの案内も含まれます。移動中は周囲の状況に気を配りながらの案内となるので、無事に送り出したあとは“ほっ”とします。

このように大きな責任を伴う仕事ですが、私は駅の職員に採用されたわけではありません。駅の業務である乗降介助だけを外部委託し、業務を請け負った会社から各駅に出向く「派遣社員」です。鉄道会社の企業理念には安全第一を掲げますが、現場では

「省人化」、外部委託によるコストカットが徹底されているようです。派遣先の各駅で、会社への不満を口にする駅職員の声も耳にします。が、私たち派遣社員と派遣先の職

員との間には歴然とした格差があります。

シフト交替の僅かな時間に同僚達から聞いた話しの他、全体のシフト表などからわかってきたことをいくつか。

まず、高齢の人が多く働いています。男性スタッフは定年後の再就職と思われる人が圧倒的に多く9割以上を占めていると思います。最高齢の人は80代前半の人で、お会いしたことが有ります。

そしてまた、半数を越える人が月の内20日前後働いていています。

女性スタッフでは、70代半ばの人が働いていると聞きました。スタッフ全体の約3割が女性で5, 60代の人が多いように思います。

一番驚いたのは、ダブルワーク、トリプルワークの人が結構いることです。「年金少ないから、働かな食うていかれへん」と直接聞きましたし、ある女性スタッフは、ウイークデーはフルタイムで働き、週末の休日を削って働いています。先日の女性スタッフは、別の仕事を終えて来たと言っていました。

また、交通費を節約するために自転車、バイク、徒歩で移動する人もいます。

「働かないと生きていけない」多くの人たちが目の前にいる現実に関直面している感じです。

最低賃金1500円は、非正規労働者にとって差し迫ったセーフティネットだと、あらためて思いました。

(大阪支部・HS)



私の職業履歴と経験したこと

私が設備管理の仕事を始めたのはそれまでやっていた自営業の売り上げが下降線をたどり、収入の減少を補填するためでした。

最初に取得した資格は2級ボイラー技士で、「経験者でなければダメだ」と言っている離宮公園の隣にあった県立こども病院の担当者に所属会社の方が粘り強く交渉して下さってやっと働けるようになったのを思い出します。

それから電気工事士、冷凍機、危険物、消防設備士などの資格を取得するにつれ、収入が少しずつアップし、市役所、病院、六甲山スノーパークの造雪プラントの運転と転々と現場が変わりました。

しばらくの休職期間を経て現在の設備管理の仕事に復帰しておりますが、当初、朝の出勤時の三宮の雑踏の中で私もこの現役の隊列の一員なんだと不思議な誇りを感じたり、当然のことですが、消費の楽しみ、喜びを今更ながらとても新鮮に感じたものです。

私が改めて思いますのは、他の方々も思っておられると思いますが、こういうホワイトカラーではなく、ブルーカラーの業種ではその職場に先にいる人が強いという事です。

ある日の出来事

今の職場に於いてですが、1年と少し先に入ったというだけの人が10回ぐらいでしょうか、私に怒鳴り、感情が高まると机をたたきながら怒鳴るのです。

ある時、たまりかねて、私が「怒鳴るな！」と大声で言ったところ、彼がかかってこようとするので、「警察を呼ぶぞ！コラ！」と一喝しました。その時、私の顔は鬼のような顔だったと思います。以後、その人は私に怒鳴らなくなりました。時には許容範

囲で反撃を加えるのも必要かもしれません。ちなみにその人は私より20歳以上も年下の人です。

市役所にいた頃には私のカバンの把手を鋭利な刃物で切断された事もあります。誰がやったのか見当がついていましたが、私は黙っていました。

YouTubeで先住猫が新入りの猫に「シャー！」と威嚇するのを見かけましたが、人間も猫も同じ生き物だと思えば、妙に納得します。

今の現場である時、深夜0時頃アラームが鳴って、冷温水機の異常ランプが点灯したので、リセットして一次対応をしましたが、翌朝6時再度異常ランプが点灯し「点検してください」との表示が出たので当日の先発運転機を変更しました。次の日、管理会社の担当者に日報を提出しましたところ、いつもは座って片手で受け取りますが、その日は立ち上がって受け取るのです。敬意を表してくれたのではなくて、評価してくれたと思います。

快哉を叫ぶその日まで

いろいろありましたが、現在、スタッフの1人（4人しかいませんが）として自分の座る椅子を確保して頑張っております。

人は誰でも他人に自慢できるものを一つや二つは持っていますが、私も心の奥に大切にしまっている自己肯定感をしっかり守って「今に見ておれ、口には出さず」という「出世街道」（畠山みどり）の歌詞ではありませんが、心の中で快哉を叫ぶその日まで頑張るつもりです。（兵庫支部・HM）



（写真は本文と無関係です見出しは教宣部で付けました）

訪問介護の仕事紹介

『最後の砦』訪問介護

介護のシステムは、それぞれの民族や地域で異なりますが、日本では介護保険法に基づく、「介護の社会化」の方向が法制化されてから25年になります。そうして労働史では最近あらわれた職種が、介護ヘルパーとなります。

世間では「介護ヘルパー」とひとくくりにされますが、おおきく「施設介護」と「在宅介護」のヘルパーに分かれます。この2つは本質的にも、実務的にも全く別の職種と言っているくらいです。

私が勤務している訪問介護は、要介護者が在宅で暮らす時に介護する仕事です。具体的には、排泄（おむつ交換など）、食事、着替え、移動、移乗、服薬、入浴、清掃、洗濯、調理、買い物、などなどです。これらの仕事は、長い間、家庭内の女性に一方的に押し付けられてきた歴史があり、いまだ職場では女性の比率が多いです。

マスコミ報道ではなにかと施設介護のことが中心となりますが、かつてのコロナ禍では、入所施設、通所施設でコロナ・クラスター感染が起きた時に、施設にいけなくな

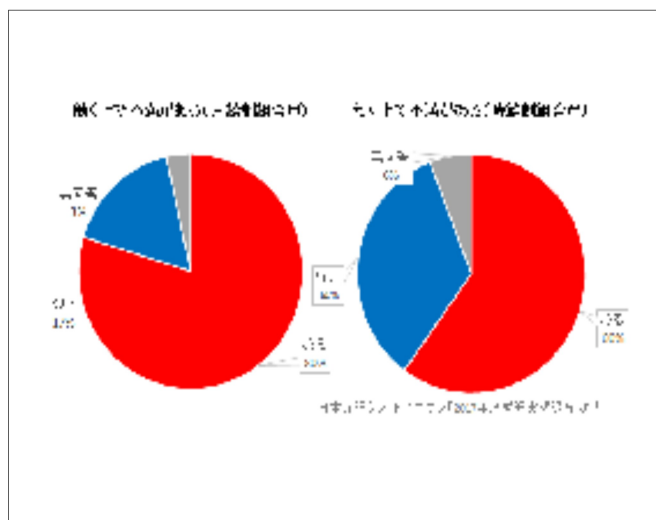


なった要介護者さんたちをわれわれ訪問介護ヘルパーが在宅で支えました。その

ときはテレビでも「訪問介護は最後の砦」といわれたものです。システム上、いまでもその位置づけはかわりないと思います。

平均より月8.9万円安い

現場で、もっとも深刻な問題は、全国労働者の平均よりもヘルパーの賃金が月8.9万円低いこと。そして低賃金からひきおこされる人手不足です。



働者の平均よりもヘルパーの賃金が月8.9万円低いこと。そして低賃金からひきおこされる人手不足です。

コロナ禍の最中には、全国平均より多くて7万円程度低いといわれてましたが、終わってみたら8.9万円とさらに格差が拡大しました。コロナウイルスと最前線でたたかたわれわれヘルパーがなにか悪いことをしたのでしょうか？

ヘルパーの高齢化も深刻で、事業所閉鎖と並行して、高齢ヘルパーの退職もすすんでいます。調査では、訪問介護ヘルパーの平均年齢は65歳前後とのことです。

(IW・サポート組合員 神戸市 訪問介護ヘルパー)



教宣部より；超高齢化社会を迎えようとしている現在、本文と上記のグラフにあるように、訪問介護ヘルパーの低賃金と人手不足は深刻です。労働組合として取り組まなければならない大きな課題の一つだと思います。

連帯労組関生支部弾圧 大津コンプライアンス第1事件控訴審判決

11月18日、大阪高裁において大津コンプライアンス第1事件の判決があった。裁判は、①フジタ事件（恐喝未遂）、②セキスイハイム近畿事件（威力業務妨害）、③日本建設事件（威力業務妨害）、④東横イン電建事件（威力業務妨害）、⑤タイヨー生コン事件（恐喝）についての判決があった。

コンプライアンス活動が犯罪か!?

裁判の焦点は、労働運動の正当な活動であるコンプライアンス活動に刑事罰を科してもいいのかが問われた。一審の大津地裁は、関生支部・湯川裕司委員長に対して4年の実刑判決。他4名に対して懲役1年から3年、執行猶予3年から5年の判決を下した。

大阪高裁 不当有罪判決!

控訴審では、湯川委員長に対して恐喝罪については無罪、コンプライアンス活動に対して懲役3年、執行猶予5年。他の4名に対して控訴を棄却した。被告は上告して闘う決意を明らかにした。



集会と裁判所包囲デモ

この日、大阪高裁前の公園に多くの労働者、市民が130名集まった。12時から裁判所



グルグル包囲デモおこない小集会を開いた。労働組合つぶしの弾圧を許さない実行委員会の小林勝彦さんは「コンプライアンスは労働者の命を守る、労働組合としてもあたり前の活動。これを事件とし、罪に問うことは許されない」と訴えた。



裁判終了後、湯川裕司委員長は「（恐喝事件の）無罪判決でもうれしくない。



今日の判決で収監されなかったが、労働運動は評価されていない。もう少し踏み込んで、コンプライアンス活動でも無罪判決を期待したが。裁判長は産業別労働運動を理解していないか、認めようとしていないのか、そういう判決であったと思う。これから労働運動はどう闘っていけばいいのか、法令遵守も威力業務妨害とされる。ストライキも企業内しか認められない、労働三権がないがしろにされている。この判決によって、私たちの活動が縮小し、自粛することではない。当然ですが、私たちは上告します。産業別労



働運動は、ゼネストをやるし、法令遵守活動もすることを負けずに拡大していく。」と決意を明らかにした。

コンプライアンス活動は 正当な労働組合活動

関生支部が取り組んだコンプライアンス活動は、現場で働く労働者の安全と地域の市民の安全を求めるものです。その行動は、「少人数で穏やかな対応でくり返し法令遵守求めるもの」（判決）でした。今労働現場では、労基法をはじめとした法令がないがしろにされ多くの事故が起きています。

労働者にとって、「安全に働く権利」が奪われる中で重要な闘いです。関生支部に対する、労働組合つぶしを許さず連帯して闘っていこう。

2026元旦行動 1月1日（木）10時大阪府警本部前が呼びかけられている。参加しよう。労働組合つぶしをはね返していこう。

（兵庫支部・高崎執行委員）

2026 元旦行動

無罪判決を勝ち取ろう!

1月1日(木) 10:00

(大阪府警本部前)

☆内容☆

- ・あいさつ
- ・連帯アピール
- ・闘争報告
- ・その他

今年も恒例の元旦行動に集まろう!

2026年を完全勝利の年に!

2025年2月26日、京都3事件において、懲役10年を検察に求刑されていた、関西生コン支部・海川委員長に対し京都地裁は3事件すべてに無罪判決を出しました。また、4月17日、最高裁からの差し戻しを受けて行なわれた加茂生コン事件の判決では、関生支部のY組合員が再び無罪となる勝利を勝ち取りました（安井執行委員は不当判決）。2025年は、着実に無罪判決を積み重ねた1年でした。2026年こそ、完全勝利の年にしなければなりません。

なかまの皆さん、元旦行動に集まり勝利の2026年をスタートさせましょう

労働組合つぶしの大弾圧を許さない実行委員会
(連絡先) 全港湾大阪支部気付 TEL: 06-6575-3131

第37回コミュニティユニオン 全国交流集会inえひめ松山 に参加しました

11月29～30日に愛媛県松山市にて開催された「第37回コミュニティユニオン全国交流集会inえひめ松山」に参加しました。

29日朝、乗る予定だった飛行機が突然欠航となり、伊丹空港で3時間以上足止めを食うハプニングがありましたが、無事集会の開始には間に合い2日間フル参加できました。

1日目・全体集会

全体集会は13時から開会。現地実行委員会、コミュニティユニオン全国ネットワーク共同代表の挨拶の後、来賓として大阪労働者弁護団の三輪晃義弁護士、参議院議員の永江孝子さん、参議院議員の福島瑞穂さんの三人から挨拶がありました。福島さんは「戦争と差別排外主義は手を携えてやってくる、労働者の団結でこれを乗り越え、「新たな戦前」を変えていこう」と発言されました。



その後、日本被団協代表理事の松浦秀人さんのビデオメッセージがあり、松浦さんは自身が胎内被爆者であることを話され「日本被団協の活動があったからこそ、実際に核は使用されなかった。このことがノーベル平和賞の受賞につながった」と話されました。



続いて全国ネットワークの総会議事が行われ、活動方針、予算案、役員体制などが採択されました。四つの特別報告、一つ目はJAL非解雇者労働組合から、15年間にわたる165名の整理解雇との闘いへの支援の訴え。二つ目はきょうとユニオン・東本願寺大谷専修学院から職場丸ごとの組合つぶしとの闘いの報告と支援の訴えがありました。



三つ目には、札幌地域労組大学非常勤講師ユニオンから、賃下げに対し団体交渉で満額回答を勝ち取り勝利したことが報告されました。特別報告の最後にスクラムユニオン・ひろしまから、M製作所で働く外国人労働者を組織して闘っている報告がなされました。

愛媛合唱団うたごえの歌と演奏の後、記念講演「伊方原発運転差止訴訟12年半の闘

い」を弁護団の中川事務局長が行いました。中川事務局長は「2025年3月18日の松山地裁判決では、避難計画の不備を不問に付し、重大事故は起きないと断定した不当判決。控訴して争う」と述べられました。



全体集会終了後、会場を移動し、歓迎のレセプションが行われました。

レセプションでは、ヒロシマ・ピース・オーケストラ代表でコンサートマスターヴァイオリニストの木村紗綾さんのヴァイオリン演奏がありました。美しい音色にみんな聞き入っていました。



特に「インターナショナル」のヴァイオリン演奏は圧巻でした。

参加した仲間たちは、大いに食べ、飲んで交流を楽しんでいました。



2日目・分科会

2日目には、10ある分科会の中から第9分科会「同一労働同一賃金」に参加しました。

名古屋ふれあいユニオンから、外国人労働者の非正規雇用の問題について、裁判闘争に取り組み日本人正規労働者と同じ労働条件を勝ち取ったことが報告されました。

札幌地域労組からは、46年間にわたって500人の職場支部をを維持し、組合事務所、組合休暇、春闘における賃金の引き上げなど労働条件の改善を少しずつ勝ち取っていることが報告されました。

えひめユニオンI分会から、使用者と派遣会社が共謀して偽装請負を行っていたことを指摘し、直接雇用（有期契約）を勝ち取り、「正社員化は徐々に進めていく」との言質を引き出していたが、御用労組が結成されこの組合員を正規雇用化しユニオン組合員に対する嫌がらせ、代理人弁護士による威嚇などが始まっていくという組合つぶしに対して、裁判闘争を闘ったが正規雇用との賃金格差、特に一時金の不支給について認められず、非正規雇用に関する法律を変えていかなければ立ち行かない。と報告がありました。

関西合同労組からも偽装請負の労働者の待遇改善を求めて闘っていることを報告しました。

全体集会では次回開催地の愛知県名古屋市から名古屋ふれあいユニオンが「名古屋には美味しいものがたくさんあります。来年は名古屋に結集を！」とアピール。最後に団結がんばろうで集会は締めくくられました。



「平和台基金」 支援カンパ贈呈に 関西合同労働組合が選ばれました

「平和台基金（中小の労働組合や個人の争議、社会的弱者の闘いへの財政支援を目的に活動）」の支援カンパ贈呈の対象に関西合同労働組合が8団体の1つとして選ばれ、総会に招かれた。

平和台病院闘争『「白衣の監獄」を開放するぞ!』

平和台病院闘争は、1970年7月に始まり、76年6月に勝利し職場復帰、85年に病院閉鎖・解雇で16年間の闘いの幕は綴じられた、神戸の地では知る人ぞ知る労働争議である（『「白衣の監獄」を解放するぞ!』（鹿砦社）。

最初は、辞退の意を伝えたが、平和台闘争へのかかわりの有無に関係なく、また、8団体の1つとうかがって、お受けした。受賞団体は、あばけん神戸・神戸移民ユニオン・ひょうごユニオン・ユニオンらくだ・ユニオンぼちぼち・自主生産ネットワーク・外国人技能実習生権利ネットワークなど長年活躍している団体ばかりだ。

委員長の広さんは、闘いの中で看護婦さんと結婚され、退職後は、お2人でたこ焼き屋を始めたエピソードの人物。ずうっと支援してくれた浦弁護士・亡くなられた分銅弁護士に深々とお礼を述べられていたのが印象的だった。また、当時の組合員である看護師さんらが4人も参加され発言されていることに、団結・帰属意識の強さに心底ビックリした。

浦弁護士は、反戦法律家連合（「反法連」）のメンバーで、当時青法協は逮捕された新左翼学生は弁護しないので、30名の弁護士で結成し、学生たちの弁護をした。平和台闘争の刑事弾圧との闘いが弁護士活動のスタートで、大変鍛えられたという。

自主生産ネットワークの鳥居さんの発言は、ワーカーズコープの経験と重なり興味深く聞いた。立食交歓の場で、隣の人にきくと「移住連（移住者と連帯する全国ネットワーク）」の鳥居一平さん（国会でも参考人として陳述）というので、労働争議で差し押さえの際、社長にガソリンかけられ火をつけられたと『国家と移民』（集英社新書）で読んでいたので、お身体大丈夫ですかときくと、30年たった今も、薬を飲んでいるとのことだった。

佐々木委員長が参加する、ユニオンネットワーク全国総会に今夜出発するという。

関西合同労働組合からも報告

私も、阪神大震災の被災地での労働運動を少し報告し、今の市民運動と連携する社会的労働運動の意義を一言述べさせてもらった。

55年間も、基金運動を続けてこられた仲間たちが、平和台病院闘争の連帯の中で、今もなお交流を大切にし、各地で労働相談や弁護活動が続けられていることに、正直びっくりすると同時に、敬意と感謝の念を深くせずにはおられなかった。



コラム

〈め（眼）メ（芽）〉 ②5

〈石ころ〉・〈事実生きる〉

■ 今年敗戦（戦後）80年ということで新聞やテレビでも多くの特集が流れています。

一方で台湾有事をあおる「抑止力」の声や戦力を持ての気運が日本にあふれています。

戦争の生々しい現実がウクライナ・ロシア、ガザで、スーダンでタイで拡大しています、子どもや人が死んで行っているのです。これでいいのでしょうか！



■ 私は岡山県北の農村で、牛市場、宿場もある町の出身です。母も父もあの戦争はダメだった、ウソだったと強く子どもの頃から言われてきました。父は新聞は事実を書かなかった、しかしこれを読めといって「時事新報」を見せた。これは事実を書いていたと。そして新聞を読めと教えられた。事実を自分で知る大事さを教えられた。二人とも最初に結婚した男性、女性をなくしています。母は（町の薬屋の娘）大正10年（1921年）、父（大きな農家の次男）は明治43年（1910年）生まれ。

■ 母から何回も聞いたのは最初結婚した男性が兵役につき（南方）帰ってこず、来たのは戦死の知らせ、そして骨箱だっ

たと。その骨箱に入っていたのはのは「石ころ」と。それ以上のことを母は言わなかったがなんということかと小学生の時と思うが、私はこれが戦争（国家）かと知った思いはいまも残っている。町の寺の鐘楼、欄干の金属もないのも寺の住職や母から説明を聞いた。母の死後の彼女の書いたノートには戦地に向う直前の兵営での当時の夫との面会やその様子が細かく書かれていた。そうして戦争が民衆を動員したのかと…。

■ 町の白い壁の家は黒く塗られ中学生時代も残っていた。田舎の貧しい農村で多くの母や父のような人々がいっぱいいた。しかし、それが語られることは無かったが知っている。

■ 事実を知る。

父が強く言っていた、自分の力で事実を確かめる。そして自分の責任で行動する。彼は、それを貫いたように思う。彼は農村の次男の行く末として馬賊を夢見、15歳で当時の中国にわたりそのようなことをやっていたようだ。当地の大学にも行き最後は満州国官僚・徴兵をへて敗戦となり、ソ連抑留をへて岡山の農村に帰国した。中国語、ロシア語も操っていたしかしそれを誇ることもなかった。それは自分が関わった戦争や満州国が間違っていたといっているように僕は感じていた。農協の参事や教育長、公民館館長など人のためにと働いたと思う。夜遅くたずねて融資を訴える農家のひとに熱心に相手していた父の姿が目にかぶ。

執行委員 宮崎



岡山県北部の棚田の風景(本文とは関係ありません)

当面のスケジュール

- ・12月22日（月）
第16回本部執行委員会
18時 尼崎市立小田北生涯学習プラザ
- ・12月23日（火）
尼崎狭山デー
17時30分 JR尼崎駅北側
- ・2026年1月1日（木）
無罪判決を勝ち取ろう！2026年元旦行動
10時 大阪府警本部前

↓12・2兵庫県庁ヒューマンチェーン市民デモHYOGO

- ・1月10日（土）
全港湾関西地方大阪支部旗開き
18時 ホテルクライトン新大阪
- ・1月17日（土）
連帯ユニオン近畿地方本部旗開き
18時 港合同・田中機械ホール



狭山キャラバン北摂
10時 JR宝塚・阪急宝塚駅間歩道 11時30分 阪急川西能勢口駅前
13時30分 JR伊丹駅前 15時30分 阪急豊中駅前

- ・1月18日（日）
改憲阻止市民フォーラム
12時 JR大阪駅前
沖縄・名護市長選挙告示日
- ・1月19日（月）
第17回本部執行委員会
18時 西宮市立勤労会館（予定）



↑11・2ハナマダン尼崎

- ・1月23日（金）
尼崎狭山デー
18時 阪急塚口駅南側
- ・1月24日（土）
狭山キャラバン兵庫
10時 JR明石駅前 13時 JR元町駅前 14時30分 JR芦屋駅北口
16時 JR尼崎駅北口
- ・1月25日（日）
沖縄・名護市長選挙投開票日
- ・2月1日（日）
関西合同労働組合第32回定期大会&2026年旗開き
13時 西宮市立若竹生活文化会館

編集後記

▼執行委員会の内部問題の解決にエネルギーを取られてしまい、6、8、10月と「拓」の編集作業に取り組むことがができず、141号の発行が12月になってしまいました。読者

のみなさんに大変ご迷惑をおかけしました。教宣部より改めてお詫び申し上げます。すみませんでした。

▼今、これを書いている今日、昨日と暖かい日が続きました。本格的冬の到来はこれからですね。ご自愛くださいませ。（S）